

勝山城跡・袋田遺跡

令和元年度発掘調査

【補足写真資料】



発掘調査現場の位置



勝山市役所

所在地：勝山市本町・元町

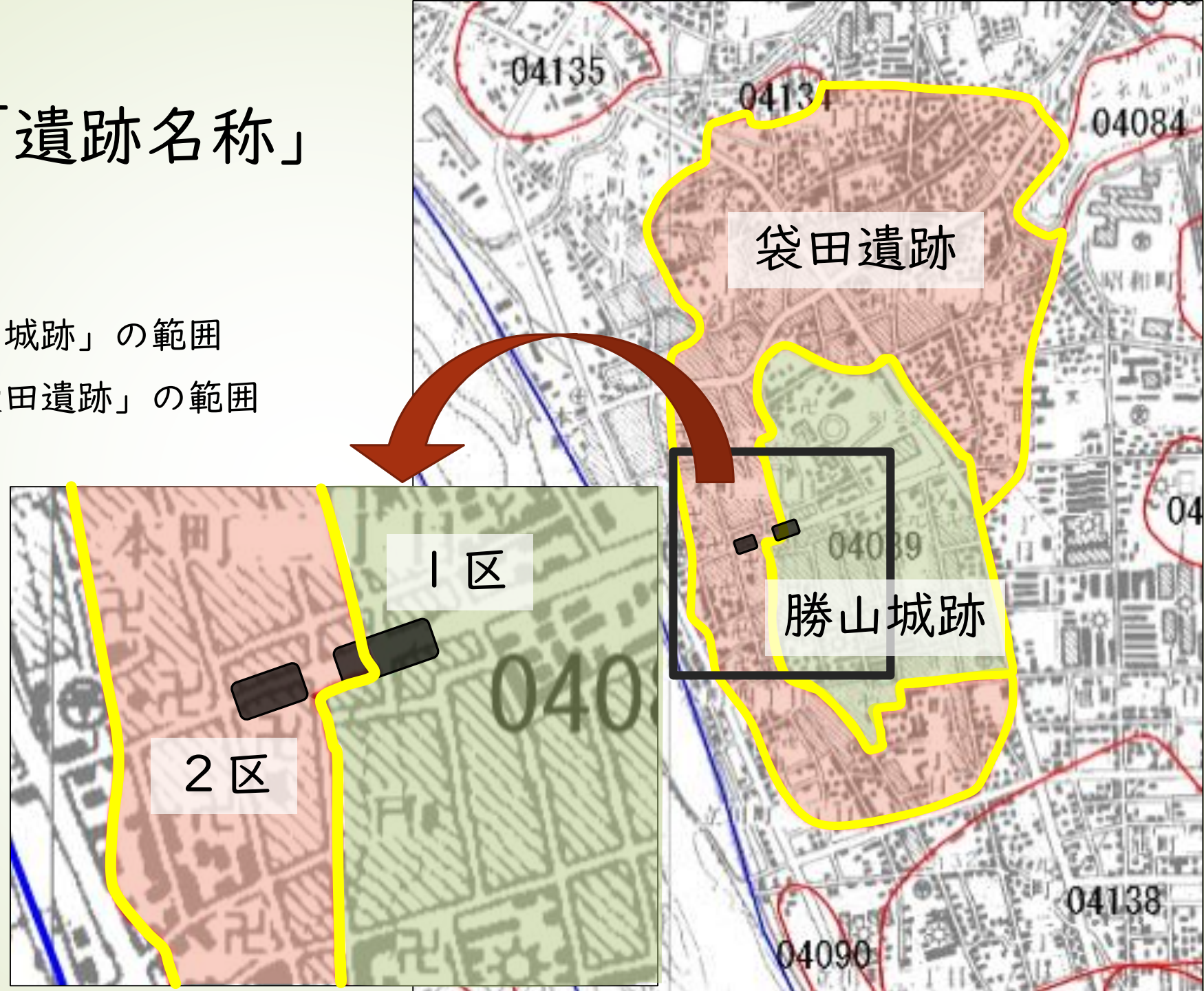
調査期間：令和元年6月3日～11月29日

調査面積：343m²(1区・2区合計)



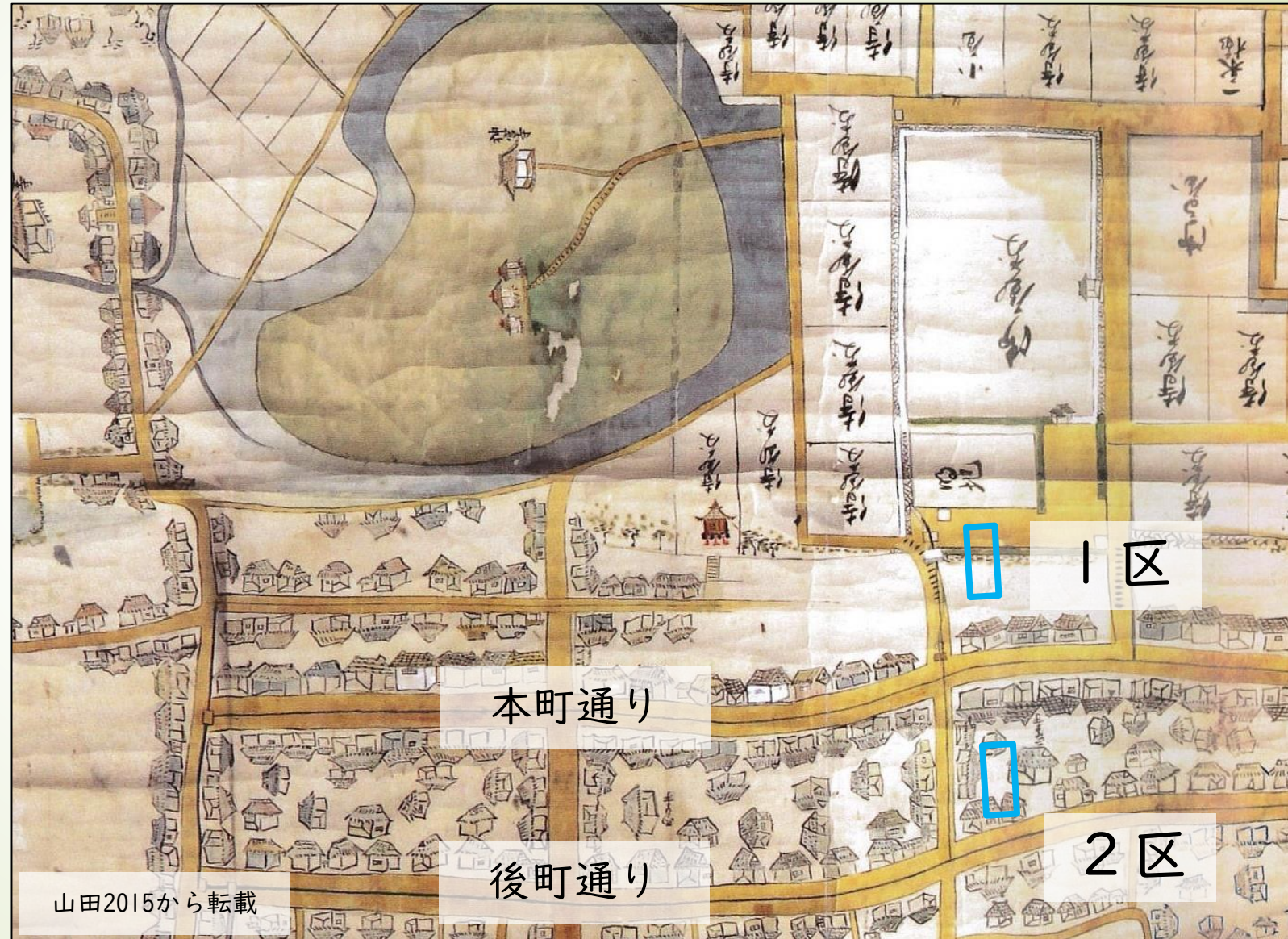
遺跡の範囲と「遺跡名称」

- ▶ 1区の東側半分が「勝山城跡」の範囲
- ▶ 1区の西側と2区が「袋田遺跡」の範囲



絵図と調査範囲

- ▶ 「元禄勝山城下絵図」に、今回調査した範囲を入れてみると、
- ▶ 1区が七里壁と土居部分。
- ▶ 2区が町屋や寺院が建っていた部分に当たります。



勝山城の歴史と 発掘調査

➡ 小笠原氏が、現在につながる勝山の基礎的な町割りを作り、絵図により街並みを知ることができる。

➡ それ以前の縄文時代や弥生時代～古代、中世の遺構もみつかりました。

時代区分	歴年代		勝山の歴史（略）	今回の調査でみつかった遺構の存続時期		
				1区	2区	
縄文	前1,4000年頃		上野遺跡・大島田遺跡など		第4遺構面	
弥生	前700年頃					
古墳	約250		大渡城山古墳の築造		第3遺構面	
古代	710	和銅3	北市遺跡など			
	1163	長寛1	平泉寺の寺号広がる			
中世	1185	文治元	鎌倉幕府			
	1338	歴応元	室町幕府			
	1471	文明3	朝倉氏、一乗谷を本拠とする	第2遺構面	第2遺構面	
	1574	天正2	平泉寺焼亡			
	1575	天正3	柴田義宣北袋を本拠とする			
	1580	天正8	柴田勝安が勝山城築城			
	1583	天正11	成田重政が勝山城入城			
1615	元和1	一国一城令、城取り壊し	第1遺構面			第1遺構面
近世	1692	元禄4	小笠原貞信入部			
	1708	宝永5	幕府から再建許可			
	1827	文政10	城郭の一部が完成			
	1871	明治4	勝山城廃城			
	1896	明治29	明治の大火、町の多くが焼失	第1遺構面直上で焼土層		

Ⅰ区第Ⅰ遺構面 遺構（Ⅰ）

- 城郭と町屋を分ける石垣を確認しました。七里壁と呼ばれています。
- 写真上が城郭部分、下が町屋部分にあたります。



Ⅰ区第Ⅰ遺構面 遺構（2）

- ▶ 七里壁の西側で石組みの井戸がみつかりました。
- ▶ 井戸を半分に断ち割った様子です。



1区第2遺構面 遺構

- 第1遺構面の下層から中世（14～16世紀）の遺構がみつかりました。
- 大きな穴（土坑）や井戸を調査しました。



一部拡大

1区第2遺構面 遺物

- 土坑から15・16世紀の陶磁器が出土しました。



2区第1遺構面 遺構

- ➡ 近世の遺構面です。
- ➡ 多くの柱穴（建物の柱を据えるための穴）や土坑がみつかりました。
- ➡ 石を円形に組んだ井戸が2基、素掘りの井戸2基も調査しました。



2区第3遺構面 遺構

- ➡ 弥生時代終末期～古代の遺構面と想定しています。
- ➡ 遺物は少なく、遺構も小穴と溝が確認できたただけでした。



2区第4遺構面 遺構

- ▶ 今まで袋田遺跡で確認されていない縄文時代晩期と弥生時代中期の土器が旧河川から出土しました。



2区第4遺構面の遺物の遺物

- ▶ 右の写真は、旧河川から出土した弥生時代中期の壺です。
- ▶ 工具でつけた波のような模様や直線状の模様がみられるのが特徴です。

